

TARO EXPLODED EXHIBITION

若い太陽の塔と対立の交差点

2025.10.12 (Sun) - 11.30 (Sun) / TALK & WORKSHOP 11.1 (Sat)

日本モンキーセンター

10月30日まで10:00-17:00、11月1日から10:00-16:00

場所:日本モンキーセンター 園内各所、ビジターセンター内特設会場

料金:無料 ※モンキーセンターの入園料が別途必要となります

犬山のモンキーパークの現在の場所に再建されてから50年となる岡本太郎の《若い太陽の塔》。大阪万博の前年1969年にモンキーセンター側に設置、8ヶ月で撤去、1975年にモンキーパーク側で再建という歴史を持ちます。本展では、モンキーセンター内に点在する塔を眺められる絶好のビューポイントを借景の形で屋外展示するとともに、塔が見つめてきた半世紀を写真や資料でたどります。

11月1日には、特別企画として、アート・認知科学・霊長類研究の専門家によるトークイベント、ビューポイントをめぐるエクスカーション、子ども向けアートワークショップ、ニシゴリラタロウのおやつづくり体験を実施します。

犬山フルまちミュージアム実行委員会



大杉浩司 Hiroshi Osugi

元川崎市岡本太郎美術館キュレーター

多摩美術大学大学院修了。設立準備室時代から岡本太郎美術館に勤務し、展覧会を数多く手掛けた。全国の岡本太郎のパブリックアートの調査研究を続ける。著書「岡本太郎にであう旅」



齋藤亜矢 Aya Saito

京都芸術大学教授(芸術認知科学)

東京藝術大学大学院美術研究科修了。芸術する心がなぜ生まれたのか、進化や発達の視点からアプローチしている。著書「ヒトはなぜ絵を描くのか一芸術認知科学への招待」



高野智 Tomo Takano

日本モンキーセンターエデュケーター

京都大学学術調査隊の一員としてケニアでヒト 上科化石の発掘調査に従事し、運動器の機能 形態を研究してきた。霊長類や霊長類研究と市 民との橋渡しに取り組んでいる。

モデレーター: 林美里 (日本モンキーセンター学術部部長·中部学院大学教授)

<特別企画>ミュージアムトーク&エクスカーション

若い太陽の塔を出発点として、岡本太郎、パブリックアート、芸術認知科学、 霊長類研究などの多様な話題を交差させながら、表現・創造の起源を考えま す。

トークの後は、閉園後の園内で非公開ゾーンも含めて若い太陽の塔のビューポイントを巡るエクスカーション(体験型見学会)も開催します。

当日は、関連書籍の販売、フルまちミュージアム関連グッズも販売します。

日時:11月1日(土)13:00-17:00

開場13:00 開演13:30-15:30 エクスカーション 15:45-17:00

場所:日本モンキーセンタービジターセンター内レクチャーホール

定員:100名

料金:1500円(高校生以上、中学生以下無料)

※モンキーセンターの入園料が別途必要となります

※Peatixでチケットの前売りを予定しています。販売開始はあらためて告知します。定員に達し次第、受付を締め切ります。

※フルまちミュージアム公式インスタグラムでお知らせいたします。

情報はこちらから→ Instagram公式アカウント @fullmachi museum



<当日の関連イベント(モンキーセンター園内)>

アートワークショプ 13:00-15:00

ファシリテーター:池田育望 (造形ワークショップ"つくるじかん"主宰)

定員:30名 対象:小学生

参加費:2000円(材料費を含む)

※Peatixでチケットの前売りを予定しています。販売開始はあらためて告知します。定員に達し次第、受付を締め切ります。

※フルまちミュージアム公式インスタグラムでお知らせいたします。

日本モンキーセンター主催イベント 11:00~11:40

「ニシゴリラタロウのおやつづくり体験」

定員:10名 対象:3歳以上

参加費:1,000円

※先着順。当日10時よりビジターセンターインフォメーションで受付。

※ニシゴリラのタロウがおやつを食べている様子はどなたでもご覧いただけます。



